

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) タテホ化学工業株式会社

## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1-1 環境保全活動に関する方針

当社のホームページ (<http://www.tateho.co.jp>) で公開しています。

## 環境方針

### ■基本理念

タテホ化学工業グループは、環境を経営の最重要課題のひとつと位置付け、継続的改善により、事業活動のあらゆる面で負となる環境影響の低減に取り組み、地球環境に配慮した製品の提供に努め、環境保全及び汚染の予防を推進し、人と自然が調和できる社会の実現に貢献する。

### ■基本方針

当グループは、マグネシウム化合物及び関連製品の研究開発・製造・販売等の一貫した事業活動において、製品の製造から廃棄までの環境負荷が最小限になるように、環境汚染の予防、地球温暖化対策（気候変動の緩和策と適応策）、資源の有効利用、及び化学物質による人や環境への影響を減らすことに取り組む。また、社員一人ひとりの活動が地域及び地球規模の環境問題と深くかかわりがあることを認識し、業務に融合した環境活動を社内外で実施する。

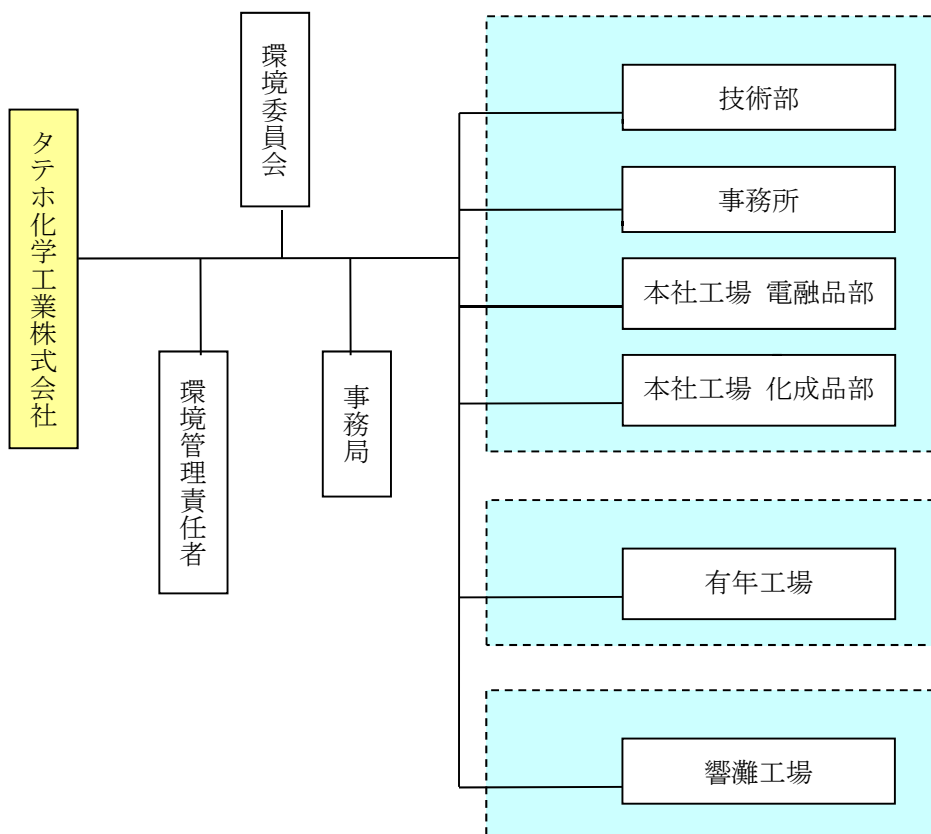
1. 環境に関する情報開示に努め、ステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを通して環境、安全、品質に考慮した製品を開発及び提供することで、より良い地球環境の実現を目指す。
2. 環境方針と実施計画及び成果を社員一人ひとりに周知し、それぞれの立場で環境問題を考え「環境クオリティ」の向上に努める。また一般にも広く公開する。
3. 地域社会、その他関連団体等の活動・行事への参加・支援を通して社会貢献の輪を広げる。
4. 環境関連の法規制並びに協定書の順守、更には自主的な取り組みにより、環境負荷の継続的改善に努める。
5. 環境方針達成のため、目的・目標を設定して実行するとともに定期的な見直しを行う。

2016年10月1日



1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

環境マネジメントシステムの体制



## 2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
資源の有効利用 1)原料等の使用量適正化、再資源化、リサイクル技術による原単位改善	1)資源の有効利用を目的に各部門目標(原単位)を設定して実施した。	1)来期も継続して実施
地球温暖化防止 1)低炭素化推進  2)新技術の開発  3)ウォーム&クールビズ展開方法の検討	1)各部門においてムダを省いた適正な操業状態を把握する為の監視パラメーターの測定を実施した。  2)環境へ貢献する製品の開発を重要開発テーマとして実施した。  3)事務所及び監視室の室温管理方法を見直し、メリハリのある活動を展開した。	1)監視パラメーターの蓄積と解析を実施し管理基準を作成する  2)技術部門において継続実施  3) ウォーム&クールビズの継続
ゼロエミッション 1)廃棄物のリサイクル化	1)産業廃棄物再資源化率 99.2%で目標とする99%以上を達成した。	1)ゼロエミッションを継続する
公害防止 1)法規制の環境測定・監視  2)自主的な管理による環境測定・監視	1)大気、水質、騒音設備の適切な運用管理を行い、法違反ゼロ。  2)特異値発生時の完全対応	1)法規制の環境測定・監視の継続と逸脱ゼロ。  2)基準値内でも、特異値が出た場合の原因の究明を継続する
環境保全意識の高揚 1)環境パトロール  2)環境ニュースの発刊  3)環境保全活動	1)環境パトロールを実施し、環境保全活動の維持・継続させた。  2)タテホグループ部門の特色ある環境ニュースを社内発行した(5,8,11,2月)  3)赤穂クリーンアップ大作戦に参加(21名)	1)環境パトロールの継続  2)環境ニュース発刊の継続  3)赤穂クリーンアップ大作戦への継続参加
定着活動の継続 1)地域貢献活動(社外の美化等)  2)エコキャップ、切手収集	1)本社工場、有年工場の構内外の清掃活動を実施  2)エコキャップ回収 18,659 個、切手収集 3099 枚	1)構外清掃活動の実施。  2)エコキャップ、切手収集等を継続する。